

発表テーマ

「地域ではぐくむ小島の子 ～ふるさとを愛する子育ての充実を目指して～」

揖斐川町立小島小学校 PTA

会 長 細野 朋洋

1. 小島小学校について

(1) 沿革

小島小学校は、1873年（明治6年）に開校した「秉彝（へいい）舎」をその始まりとし、1947年（昭和22年）4月に小島村立小島小学校となり、昭和30年の町村合併によって揖斐川町立小島小学校が誕生し、現在に至っています。

(2) 学校規模等（令和3年度）

児童数	177人
学級数	7学級
教職員数	29人

2. 小島小学校 PTA について

(1) 活動方針

小島小学校 PTA（以下「PTA」）では、毎年活動方針となるスローガンを定めています。例年、あいさつ運動に力を入れており、令和3年度では「あいさつで 笑顔輝く 小島の子」をスローガンとして、明るいあいさつをきっかけとして親子のふれあい、地域社会との関わりを深め、子どもたちの健全育成を図ることとしています。

さらに、「小島地域づくり協議会」に PTA 会長も参画し、地域行事と共に PTA の活動を行うことで、地域との連携を深めていきます。

(2) PTA 組織

PTA は全体計画を企画する運営委員会（役員会）と、広報・学級・母親・生活指導の4つの常置委員会で構成されています。

【常置委員会】

委員会名	人数	活動内容	活動例
広報委員会	6	・PTA 活動の周知	広報誌発行
学級委員会	6	・会員相互の連絡と親睦の場づくり	学級懇談会 読み聞かせ
母親委員会	6	・学校及び家庭の中で「子どもの自主性を育む」活動の企画・実施	家庭教育学級 コサージュ製作
生活指導委員会	25	・学校内外の環境整備 ・児童の安全確保	資源回収（年2回） 交通安全指導

少子化により PTA 会員数が減少しています。PTA 役員の負担が大きくなってきたことから、令和 2 年度において次年度役員候補者を指名する指名委員選出を廃止し、委員定数の見直し等を行い、会員の負担軽減に努めています。

3. 活動事例

小島小学校では、ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを育てる「ふるさと教育」に力を入れています。昔から地域の方にご協力をいただき、地域の方と子どもたちが交流し、学ぶ場づくりに努めています。

(1) 地域ボランティアとの交流活動

① フラワーブラボーコンクール (FBC) 参加を通じた交流

小島小学校は昭和 62 年より、フラワーブラボーコンクール (FBC) に参加しています。命あるものを慈しむ心や植物を育てる大変さを学びます。花いっぱい地域になるよう、地域にも育てた苗の提供をしています。また、保護者ボランティアを募集し、苗入れや花壇の植え込み、除草を手伝っていただいています。



花壇の植え込み

② 校内環境の美化活動

地域の有志の方々により、学校校地内の除草や、老朽化した柱のペンキ塗りをしていただき、美しい校内環境が維持されています。また、毎年 8 月に PTA で親子奉仕作業を開催し、校内の除草や側溝の掃除を行っています。校内環境の美化につながるのはもちろん、親子の交流の場にもなっており、親子で楽しそうに作業を行う光景が見られます。



有志による柱のペンキ塗り

③ 学校安全サポーター

小島小学校では、令和 3 年度現在で、41 名の学校安全サポーターに登録いただき、登下校時の子どもたちを見守っていただいています。「おはよう」「こんにちは」「おかえり」「ただいま」などのあいさつを通して、地域の方とのふれ合いの場にもなっています。3 月に PTA が中心となって感謝の会を開いています。



サポーターさんの活動の様子

(2) 小島公民館及び小島地区との連携による活動

①家庭教育学級

子どもの教育や人格形成に家庭が果たす役割は、近年大きくなるばかりです。そこで、次代を担う子供たちの豊かな人間性や社会性を育むことを目的に、小島小学校の家庭教育学級は、小島公民館が主となって運営し、子育ての先輩方にアドバイスをいただいています。1年生全員の保護者と他の学年からの希望の保護者が参加しやすくなるよう、PTAの母親委員も活動の企画・運営に参画しています。



卵の殻踏み体験(防災キャンプ)



給食試食会

②学校田活動

小島公民館を通じて地域の方から田んぼをお借りし、田植えや稲刈り、泥んこ遊びを体験する活動です。今年は、畦の役目や畦塗りの大切さと、田植えの方法などの指導もしていただきました。

子どもたちは泥まみれになりながらも、米を栽培・収穫する苦勞を学び、自然の中で遊ぶ楽しさを体験できて、人気のある活動です。



③「小島夏祭り」盆踊り指導協力、運営協力

小島地区では、平成14年から地域の中学生が主体となり、地域の大人を巻き込んで夏祭りを企画、運営しています。PTAでは、子どもたちの自主性を育み、健全育成につながるこの活動を支援するため、盆踊りを練習する会場の管理を行ったり、祭り当日に除草を行ったりしています。この活動を通して、いずれ中学生になる子どもたちの自信とやる気につながると考えています。



盆踊り練習会



学校敷地の草刈り

(3) 小島地域づくり協議会準備会への参加

現在、小島地域づくり協議会の立ち上げに向けた準備会が開催されています。PTAも準備会に参加し、ふるさとに愛着をもち地域に関わる人材を育てるためにどのような取り組みをすべきかについて意見交流を行っています。



小島地域づくり協議会

4. 今後の課題と展開

これまで、ふるさと教育を推進するため、学校や小島公民館が主となって地域の人材を探し交流の場を作り、PTAも運営協力してきました。しかし、人口減少と高齢化が進み、学校や公民館だけでは子どもたちを指導していただける人材を探すのが困難になってきました。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、従来の活動が制限される中、今後、PTAはどのような取組をすべきかが課題となっています。PTAは、子どもの健やかな成長を願って、学校と保護者が交流しあう場です。学校や地域の悩みを解決するために、一人でも多くの保護者が参加し、活発な意見やアイデアを出してもらえるよう、保護者の負担を減らし参加しやすい環境を整えていくことが重要です。そのために、役員体制の見直しを図ったり、ZoomやTeams等のリモート会議ツールを活用して、参集しなくても参加できる活動を企画したり、活発な意見を交流する場を作ったりする取組を行いたいと思います。また、小島地区まちづくり協議会に今後も参加し、地域団体と連携してふるさと教育に必要な人材を発掘する取組も行いたいと思います。

ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもは、将来、地域を支えてくれる人材になっていきます。小島小PTAでは、これからも地域と一緒に子どもを育む取組を継続していきます。